

## 飯塚市立椋本小学校 教育活動プラン

豊かな人間性 (やさしい子部)	相手の良さや違いを認め合い、未来に生きる自分の可能性について考えることができる子どもの育成	
期	前期（1年～4年）	中期（5年～6年）
重点目標	○自分や他者のよさ・違いに気づくことができる。 ○将来の夢や希望をもつために、計画作りの必要性に気づいたり、作業の手順を理解したりすることができる。	○自他共に尊重した考えや行動ができる。 ○将来の夢や希望をもち、高い目標を立てて努力したり、自分の長所を伸ばしたりすることができる。
取組方針	○課題対応能力・キャリアプランニング能力を育むキャリア教育の推進 ○本物・未来志向のある教育実践（本物・未来志向の体験学習の実施） ○6年間（9年間）の連続した人権教育・道徳教育の推進 （自他を大切に、人権感覚を身につけた子ども ※「あおぞら2」・SEL8-Sの活用）	
各期の取組	人権教育 キャリア教育 道徳教育 学級活動 (SEL-8S)	
	キャリアパスポート（今年度の目標・体育発表会等の取組・ふりかえり）	
	【生活科】 ①かぞくのこにこ大作戦 ②えがおのひみつ探検隊	【総合】 ③地域のスクープ ④二分の一人成人式をしよう ⑤スキー体験学習をしよう ⑥平和の旅・働くことについて考えよう
	【行事】体育発表会を成功させよう	

学力向上 (かしこい子部)	基礎的・基本的な学力を習得するとともに、自分の考え（結論と根拠）を書く力を身につけた子どもの育成	
期	前期（1年～4年）	中期（5年～6年）
重点目標	○基礎的・基本的な学習内容の取得に取り組むことができる。 ○自分の考えと友達の考えを比べることで、共通点や相違点に気づくことができる。	○学習でつまづいた内容に対して、克服するためのスキルを習得することができる。 ○自分で考えを明確にし、友達の考えと比べ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
取組方針	○基本的・基礎的な学力を習得させるとともに、活用力を育成する学習活動の充実（徹底反復・補充学習・アクティブラーニングの実施・ICTの活用） ○主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善の促進（協調学習 等） ○検証改善サイクルによる授業改善 (CAP-DO) の実施 ○特別支援教育の視点による環境作り（ユニバーサルデザイン化）	
各期の取組	徹底反復学習（MIM、百マス計算、音読、漢字）	
	授業スタンダード・ICT機器の活用・知識構成型ジグソー法・「書く活動」の取組 ICT活用推進のための校内研修及び主題研修（協調学習）の充実	
	補充学習・分割授業・TT授業・個別支援	
	環境づくり（ユニバーサルデザイン・学習の足跡可視化）	
	家庭学習プリント	自学ノートの取組（3～6年）

【学校目標】 自他を認め合い、磨き合い、実践力のある子どもの育成  
～やさしく かしこく たくましく かがやく椋本の子ども～

体力向上 (たくましい子部)	健康の保持増進と体力の向上を目指し、日常生活において積極的に運動に親しむ態度の育成	
期	前期（1年～4年）	中期（5年～6年）
重点目標	○基本的な運動を通して体の調整力を高めることができる。 ○健康についての知識を習得し、健康で安全な生活を送ろうとする態度を育てる。	○いろいろな運動を体験することを通して体力の向上を図る。 ○睡眠・食事・運動のバランス考えて、健康な生活を送ろうとする態度を育てる。
取組方針	○小中連続した体力向上の取組の充実（6分間サーキットトレーニング・外遊びの推奨・家庭への働きかけ） ○食育の充実（子どもの育成・家庭への働きかけ、残菜0を目指す）	
各期の取組	体育の時間における「サーキットトレーニング」の実施・体力アップシートの活用	
	異学年交流（新体力テストの取組）	
	休み時間の運動推奨の取組	
	健康チェックカードの活用	
	給食の目標（毎月）・感謝週間の取組	

自主・自律 (かがやく子部)	様々な場面において、自らの判断のもと、最善の方法を選択し、行動しようとする子どもの育成	
期	前期（1年～4年）	中期（5年～6年）
重点目標	○基本的な生活習慣の確立を図る。 ○教育活動を支える教育環境を整備する。	○社会（集団）の一員としての意識を高め、自分の役割を果たそうとする態度を育てる。 ○教育活動を支える教育環境を整備し、主体的に活動しようとする態度を育てる。
取組方針	○小中一貫した「学校生活のやくそく」を基盤とした生徒指導（「あいさつ運動」「履き物揃え」の推進） ○児童会活動を通して・生徒会連携による取組の推進 ○清掃活動の充実（きれいな学校） ○基本的な生活習慣づくり	
各期の取組	「あいさつ運動」「履き物揃え」の取組（小中一貫した取組：児童会活動）	
	「もくもく掃除」の取組（縦割り掃除）	
	「椋本小のやくそく」見直しとベクトルを合わせた生徒指導	